

なによりも不安を小さく…

認知症状を感じている人は、ご自分の行動が正しくできているのか、自分が何をしているのか…が確認できにくい状態になるようです。「確かさが失われる」は、長谷川先生の言葉ですが、そのことで不安が大きくなるようです。

ご自身でイライラしてしまうこともあるようです。そこで、まず、不安をできるだけ小さくすることからサポートをはじめましょう。

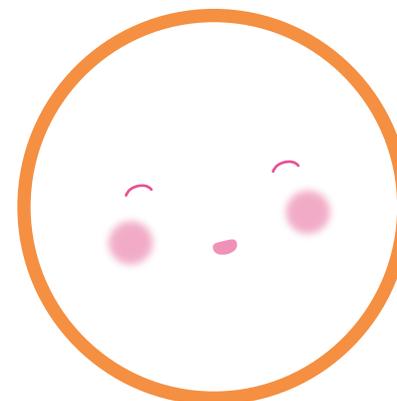


急激な変化は、不安が大きく。ゆっくりと ゆっくりと…

(1)

7つの約束を覚えておいて

いつでも対応できるように、ときどき読み返して確認してください。す〜ッと身体が動くようになれば、素晴らしい認知症サポーターになれます。認知症の人をサポートすることは、知識ではなく、知識に裏付けられた行動です。いつものような自然な笑顔で、いつもより、少しやわらかい言葉で、ゆっくりとお相手がおどろかないように、ゆっくり動きます。



認知症サポーターのオレンジリング

もし、お相手が怒っているときは決して近づかないこと。

(10)